

2023年
11月号



大子町 袋田の滝

発行 / 社会医療法人 若竹会 つくばセントラル病院
編集 / 地域連携室 発行人 / 病院長 金子 剛
住所 / 〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1589-3
電話 / 029-874-8592 FAX / 029-874-6636 (地域連携室)

【目次】

- P1 . . . 社会医療法人 若竹会 理事長就任のご挨拶
- P2 . . . 診療コラム 産婦人科
- P3 . . . お知らせ ホームページリニューアル / 登録医紹介



社会医療法人 若竹会
理事長 金子 洋子

略歴

- 1995年 筑波大学医学専門学群 卒業
- 2002年 信州大学大学院博士課程 修了
- 2004年 つくばセントラル病院 腎臓内科部長
- 2015年 同 副院長
- 2022年 社会医療法人 若竹会 理事長代理
- 2023年 同 理事長
10月

専門分野・資格等

- ・医学博士
- ・筑波大学医学群臨床教授
- ・日本内科学会 指導医
- ・日本腎臓病学会 指導医
- ・日本透析医学会 指導医 等

このたび、2023年10月1日より社会医療法人 若竹会の理事長に就任いたしました金子洋子と申します。創設者である竹島徹前理事長から法人運営のバトンを受け、身が引き締まる思いです。1988年創業より35年に及ぶ竹島先生のご功績に深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

社会医療法人 若竹会は、急性期医療を担うつくばセントラル病院（病床数313床）を中心として、2022年11月に開院した土浦リハビリテーション病院 介護医療院138床と、2つのクリニックを運営しております。私たちは『一人の人を大切にする慈愛の医療と福祉の活動に徹する』との経営理念を掲げ、医療から介護へシームレスなケアで地域医療・福祉に貢献することを目指しています。介護事業では、介護老人保健施設4施設と特別養護老人ホーム2施設を含む計14施設を運営しており、急性期の病院であるつくばセントラル病院と密接に連携していることが強みです。

また、2013年に公益性の高い医療を行う「社会医療法人」として茨城県より認可されており、つくばセントラル病院は地域医療支援病院ならびに災害拠点病院として承認されています。予防から救急医療・急性期・回復期リハビリテーション・周産期など、多様な病院機能を併せ持ちます。最先端の高精度放射線治療センターや腎透析センター、腎結石破碎治療やリハビリテーションセンター、がん緩和ケアなどの専門治療を行い、質の高い医療をめざしています。

日本社会は今後、高齢者の急増や人口減少、感染症や災害に対する対策など、さまざまな課題に直面します。このような時代の中、私たちは地域のニーズに応える医療・介護・生活支援の包括的なケアシステムづくりを更に拡充して参ります。職員の教育や研修、組織の改善や革新などにも力を入れております。患者さん・利用者さんファーストで、利便性や移動のしやすさ、安価さやスピード、安心感や親切さなど、信頼性の高いサービスを提供していきます。

地域の安心安全の灯台として、若竹会は「一人の人を大切にする」心に徹して歩み続けます。これからも末長く、社会医療法人 若竹会を宜しくお願い申し上げます。

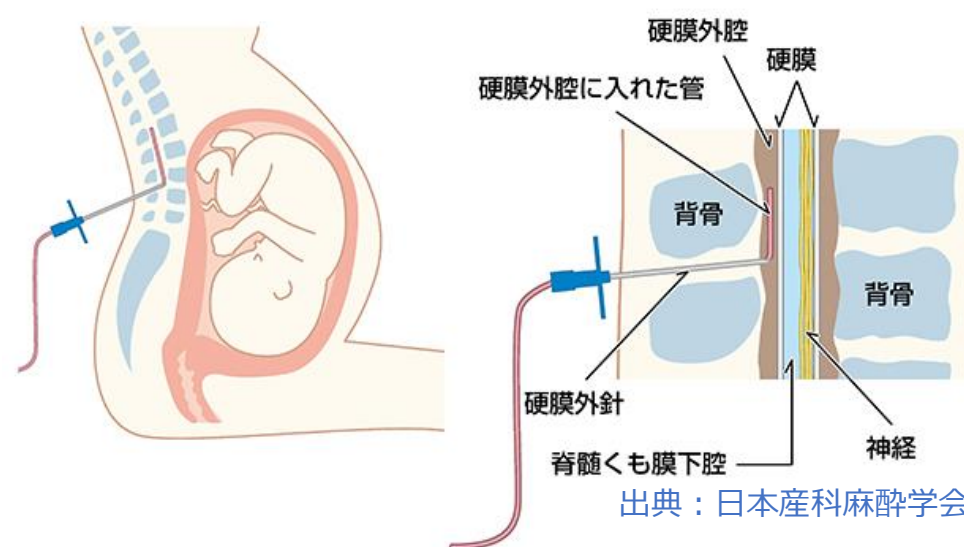




無痛分娩とは、子宮の収縮や怒責感を残しながら、陣痛の痛みを軽減させるために行う麻酔を併用したお産のことです。当院で行っている無痛分娩は、「硬膜外麻酔」という方法で、もっとも一般的な方法です（図）。帝王切開でも使用される麻酔方法のひとつですが、帝王切開で使用するよりは少量の麻酔薬を用います。下半身だけの局所麻酔のため、麻酔中も意識はあり、多くは歩行も可能です。医学的には、母体の心臓疾患や、重症妊娠高血圧等の妊産婦さんを対象としていますが、実際には、無痛分娩の多くは、本人の希望により実施されています。近年、日本でも無痛分娩が普及してきており、2020年には全分娩数の8%を超えてきましたが、諸外国に比較するとまだまだそれには及びません。安全を確保した上で、より快適な分娩を妊産婦さん自らが選択できる選択肢の一つとなることから無痛分娩への期待は大きくなってきています。当院では、本年4月より無痛分娩の対象を医学的適応だけでなく、希望の方にも拡大しています（予約制）。

副理事長・産婦人科 部長 小倉 絹子医師

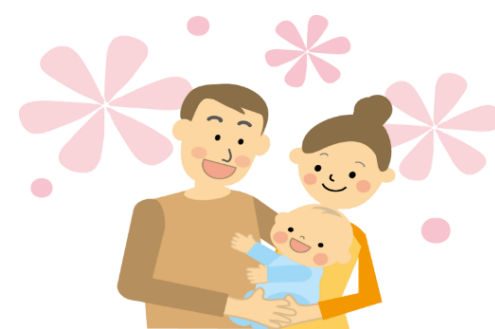
- ・ 医学博士
- ・ 日本産科婦人科学会 専門医・指導医
- ・ 日本女性医学学会認定 女性ヘルスケア専門医・指導医
- ・ 日本周産期新生児学会 周産期専門医（母体・胎児）
- ・ 母体保護法指定医
- ・ 日本東洋医学会 漢方専門医



■ 無痛分娩のデメリットは？

- メリット
1. 陣痛の痛みが和らぐ
 2. 分娩前の恐怖心が減る
 3. 骨盤筋の緊張を和らげ、難産道を柔らかくする
 4. 産後の疲労を減らす

- デメリット
1. 陣痛が弱まり、分娩が長引くことがある
 2. 麻酔の副作用の可能性 (血圧低下・搔痒感・母体発熱)
 3. ごくまれな合併症の可能性 (局所麻酔薬中毒・全脊髄も膜下麻酔・神経損傷など)



■ 当院における無痛分娩の実際は？

当院では、無痛分娩は基本的に平日の日中で計画分娩としています。計画分娩とは、あらかじめ日程を決めて入院し、陣痛促進剤を点滴して陣痛を誘発して行う分娩です。計画分娩の入院前に陣痛や破水が来た場合は、状況により無痛分娩ができないこともあります。当院の無痛分娩の特長として、より安全で安心な無痛分娩を行っていくために、硬膜外麻酔の穿刺は麻酔科専門医が担当し、分娩進行中は麻酔科医と産婦人科医、そして助産師が協力しあいチームとなって無痛分娩の管理を行っています。また、無痛分娩に関する各種研修会に、多数のスタッフが参加して研修を受講し、日頃から母体急変時のシミュレーション勉強会を行い、安全な無痛分娩の管理を心がけています。無痛分娩を検討されている妊産婦さんやそのご家族は、ぜひ当院産科外来の担当医にご相談ください。

お知らせ ホームページリニューアル

つくばセントラル病院、セントラル総合クリニックのホームページをリニューアルしました。

つくばセントラル病院

<https://central.or.jp/>



セントラル総合クリニック

<https://clinic.central.or.jp/>



登録医紹介 阿見ぎぼクリニック



院長 宜保 英彦
副院長 宜保 恵里

【診療科目】 一般内科・糖尿病内科・代謝内科
内分泌内科・ペインクリニック
婦人科・小児科・健康診断
予防接種・産業医

◆内科・糖尿病内科・内分泌内科 院長

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~13:00 | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | — |
| 15:00~18:00 | ○ | ○ | ▲ | ○ | ○ | — | — |

▲：15:00~19:30

休診：水曜午前、土曜午後、日曜祝日

◆ペインクリニック内科(痛み) 副院長

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~15:00 | ○ | — | ○ | — | ○ | ▲ | — |

▲：8:30~13:00 第2週、第4週のみ診療

休診：火曜、木曜、土曜午後、日曜祝日

◆婦人科

第1、第3土曜日 9:00~13:00

【事前予約制】婦人科検診は平日可（火曜日を除く）

◆小児科

まずはお電話にてお問い合わせ下さい



このたび、2023年(令和5年)5月、阿見町鈴木の地に「阿見ぎぼクリニック」を開設いたしました。私たち夫婦は、それぞれ大学病院で研修後、院長を務める私は内科医(糖尿病内科・一般内科)として、副院長を務める妻は麻酔科医(ペインクリニック)として、総合病院で診療を続けてきました。

未曾有のコロナ禍で医療体制がひっ迫する中、微力ながらも地域の皆さまの力になれないものかと日々考えていました。様々な困難に直面しながらも、私たちが出した答えは、より患者様との距離が近いかかりつけ医となって、地域医療に貢献したいということでした。些細なことでも気軽に相談できるような、患者様にとって身近なクリニックを目指してまいります。



〒300-0334
茨城県稲敷郡阿見町鈴木4-170
TEL:029-888-8800